

行政事業レビューシート

(文部科学省)

予算事業名	科学技術広報啓発		事業開始年度	平成3年度		作成責任者		
担当部局庁	科学技術・学術政策局		担当課室	基盤政策課		基盤政策課長 板倉周一郎		
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術関係人材の育成及び 科学技術に関する国民意識の醸成				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定) 「科学技術週間について」(昭和35年2月26日閣議了解)				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	科学技術人材の育成強化のため、科学技術に関する広報啓発等により、広く国民一般の科学技術に関する関心と理解を深める。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>毎年4月に行われる科学技術週間期間中に、科学技術に関する様々な広報啓発事業等を実施する。</p> <p>①科学技術週間等行事の実施:科学技術週間周知ポスターの製作配布、行事の実施、科学技術週間HPの運営など。 ②標語等の募集・表彰等:小・中・高校生を対象に標語を募集し、優秀作を表彰。決定した標語は科学技術週間周知ポスターに活用。 ③普及啓発ビデオ製作:科学技術に興味を抱かせ理解を深めるような普及啓発ビデオを製作配布。 ④科学技術理解増進資料の製作:家庭で基礎的な科学技術の知識が身につくような資料を製作配布。</p>							
実施状況	<p>①科学技術週間イベント:ポスターを76,000部作成配布。21年度イベントとして科学技術週間50年記念シンポジウム、サイエンスカフェ、科学技術映像上映会などを実施し、延べ1,000人が参加。毎週第4金曜日に情報ひろばサイエンスカフェを定員30名/月で開催。科学技術週間HPを運営し、アクセス数は336,114Hit/月。また、22年度イベントの事前準備を実施。 ②週間標語募集:募集のチラシを民間企業で印刷し、全国小・中・高等学校や科学館に発送。応募数7,546件。 ③科学技術映像の製作:民間企業にビデオ制作を発注。DVDを科学館に発送するとともにイベントで配布。 ④科学技術に関する理解増進資料の製作:民間企業にデザインを発注し、印刷。全国の学校や科学館に発送するとともにイベントで配布。</p>							
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求		
	予算額(補正後)	32	32	29	29	—		
	執行額	32	26	20				
	執行率	100.6%	82.6%	68.5%				
	総事業費(執行ベース)	32	26	20				
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	事業については、業者に適宜指示を行い、状況を把握しながら実施している。 なお、イベントの申込みについてはHPでの事前申込み制とし、人数等の把握を行っている。また、イベント毎にアンケートを行い、参加者の興味の把握等に努め、次年度以降の参考としている。						
	見直しの 余地	より科学技術週間の認知を高め、科学技術に関する理解増進を図るため、教育機関以外への周知方法について検討するとともに、アンケート結果も踏まえつつ、行事内容をより充実したものにしていく。 21年度執行については、一般競争入札を行った結果、経費節減が図られた。22年度以降も引き続き経費節減を図る。						
予算 監 ム 視 の ・ 所 効 見 率 化	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、広く国民一般の科学技術に関する関心と理解を深めるためのシンポジウム等を行うイベント事業であり、長期継続事業にあたるとともに、平成21年度は予算の執行率も低くなっている。</p> <p>2. 所見:国自らがイベント等を行う長期継続事業であり、いったん廃止した上で、『『国民との科学・技術対話』の推進について(基本的取組方針)』を踏まえ、研究者や大学、企業、科学館、NPO等の取組を促進し、科学技術関係人材の育成に向けて効果的な連携が図られるよう、見直しを行うべきである。</p>							
補 記								

文部科学省
20百万円

諸謝金 0.1百万円
委員等旅費 0.1百万円
庁費 11百万円
を含む。

事業概要
毎年4月に行われる科学技術週間期間中に、科学技術に関する様々な広報啓発事業等を実施する。
①科学技術週間等行事の実施：科学技術週間周知ポスターの製作配布、行事の実施、科学技術週間HPの運営など。
②標語等の募集・表彰等：小・中・高校生を対象に標語を募集し、優秀作を表彰。決定した標語は科学技術週間周知ポスターに活用。
③普及啓発ビデオ製作：科学技術に興味を抱かせ理解を深めるような普及啓発ビデオを製作配布。
④科学技術理解増進資料の製作：家庭で基礎的な科学技術の知識が身につくような資料を製作配布。

[一般競争入札・請負]	[一般競争入札・請負]	[一般競争入札・請負]	[一般競争入札・請負]	[一般競争入札・請負]
A. 株式会社アンカー 2百万円	B. 株式会社スタジオ アルタ 1百万円	C. 株式会社荒川印刷 1.8百万円	D. 株式会社サンエー 印刷 1.8百万円	E. 株式会社映像館 2.3百万円
科学技術週間シンポジウム、上映会等運営支援業務	科学技術週間サイエンスカフェ運営支援業務	科学技術理解増進資料デザイン	科学技術理解増進資料印刷	科学技術映像の製作

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 株式会社アンカー			E. 株式会社映像館		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	科学技術週間シンポジウム等運営支援業務	2	請負費	科学技術映像の製作	2.3
計		2	計		2.3
B. 株式会社スタジオアルタ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	科学技術週間サイエンスカフェ運営支援業務	1			
計		1	計		0
C. 株式会社荒川印刷					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	科学技術理解増進資料のデザイン	1.8			
計		1.8	計		0
D. 株式会社サンエー印刷					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	科学技術理解増進資料の印刷	1.8			
計		1.8	計		0